

七月十日
曇雨
支隊本部ハ四時出發先徐州ニ向ヒ前進シ十六時五十分
孫店ニ歸還ス

六 昨十四日ノ降雨ニ依リ道路不良ノ爲メ行進遲滞ス

三 十時源喬ニ於テ國支作命甲第二五號同第二六號ヲ下達ス

四 支隊本部ハ徐州ニ宿營豫定ナリレカ設營ノ爲先遣セル西原

大尉遇々師團參謀長ト會ヒ全般ノ狀況並旅團ノ新任務ニ

関シ其ノ要旨ヲ聽キ寸時モ早ク現駐地ニ歸還スルニ決シ討伐

間ノ狀況ヲ師團長ニ報告シテ後孫店ニ歸還ス

五 長野、牟田西部隊長ニ對シ左記電報ヲ發ス

歩兵第十一聯隊長宛

一 支隊ハ本十五日十四時其ノ編成ヲ解ク

其他前命ト同シ

二 予ハ本十五日孫店ニ到ル

騎兵、砲兵、工兵、衛生隊、輜重、兵站自動車ニ傳達セ

ヲレ度

牟田部隊長宛

一 支隊ハ本十五日十四時其ノ編成ヲ解ク

ニ 予ハ十五日孫店ニ到ル

三 兵站自動車隊ハ本十五日徐州ニ歸リ原所屬ニ復
歸スヘシ

(本電文ハ無線連絡ツク孫店ニテ漸ク連絡)

六 本期討伐間ニ於ケル所見戦闘詳報記載ノ如シ

七月十五日 部隊本部ハ孫店ニ位置ス

踏 ニ 師團會報及功績會報出席ノ急由原准尉徐州師團司

令部ニ出張ス

三 陸軍定期移動左ノ通り發令セラレタル旨師團ヨリ通報
アリ、

免步兵第九旅團長
 補陸軍步兵連隊長
 免步兵四十一聯隊長
 補廣島陸軍幼年學校長
 免陸軍省思賢課長
 補步兵第九旅團長
 免教育總監部
 補步兵第四十二聯隊長
 陸軍少將 岡崎 登
 同 山田 鉄次郎
 同 及川 源七
 陸軍步兵大佐 鮎見 敏郎

七月十七日 一 部隊本部ハ孫右ニ位置ス

晴

二 移駐ニ伴フ鐵道輸送打合せヲ爲西原大尉ヲ徐州鐵道監部

支部ニ派遣ス

三 丁時津浦線南段警備ニ関シ命令ヲ國警第一旅左記通り

下達ス

國警第一旅

步兵第九旅團命令

七月十七日十時
於孫右

一 第五師團長ハ第二四師團及獨立混成第五旅團ヲ併セ

指揮シ乙防備地區ノ防衛ニ任ス

19

1273

歩兵第二十一旅團長ハ北地區防衛並ニ徐州ノ警備ニ任ス
ル筈、

ニ
予ハ部下旅團（一大隊欠）野砲兵第五聯隊ノ一大隊及
輜重兵二中队ヲ併セ指揮シ師團無線ニ分隊及第
三野戰病院ヲ區署ニ南地區警備隊トナリ別紙要圖ノ
地域ノ防衛ニ任セントス

三
歩兵第十一聯隊第二大隊ハ豐縣及單縣ノ警備ヲ
歩兵第二十二旅團ヨリ派遣スル部隊ト交代後尙可速ニ
現宿營地ニ集結シ師團長ノ直轄タルヘシ 交代部
隊ハ二十日到着ノ予定

四
歩兵第十一聯隊長ハ部下聯隊（第二大隊欠）及
輜重一中隊ヲ以テ北部警備隊トナリ歩兵第四十二
聯隊ト警備ヲ交代シ別紙要圖ノ地域ノ防衛ニ任ス
ヘシ交代ニ關シテハ直接歩兵第四十二聯隊ト協定スヘシ

- 又第三大隊ノ残置セル部隊ハ依然現在地ニ在リテ其ノ主力ノ飯還後其ノ指揮下ニ復飯セルムヘシ
- 五、歩兵第四十一聯隊長ハ部下聯隊及輜重一中隊ヲ以テ南方警備隊トナリ別紙要圖ノ地域ノ防備ニ任スヘシ特ニ一部ヲシテ大店集及蒙城ヲ確保セルムヲ要ス
- 六、兩地區警備担任地域ノ境界ハ趙旗必臨集、符離集、月河、睡河ノ線トス
- 線ハ南部警備隊ニ屬ス
- 七、野砲兵第三大隊ハ予ノ直轄トス
- 八、鐵道輸送ニ依リ宿縣ニ兵力ヲ集結スヘシ
- 輜重兵隊ハ其ノ一中隊ヲ現在地ニ於テ歩兵第四十一聯隊長他ノ一中隊ヲ鐵道輸送ニ依リ宿縣ニ於テ歩兵第四十一聯隊長ノ指揮下ニ入ラシムヘシ
- 九、各警備隊ノ交代ノ爲メ責任轉換ノ時期ハ交代終

20

了時トス

各隊（區署部隊ヲ含ム）ノ鐵道輸送ニ付テハ別

ニ指示ス

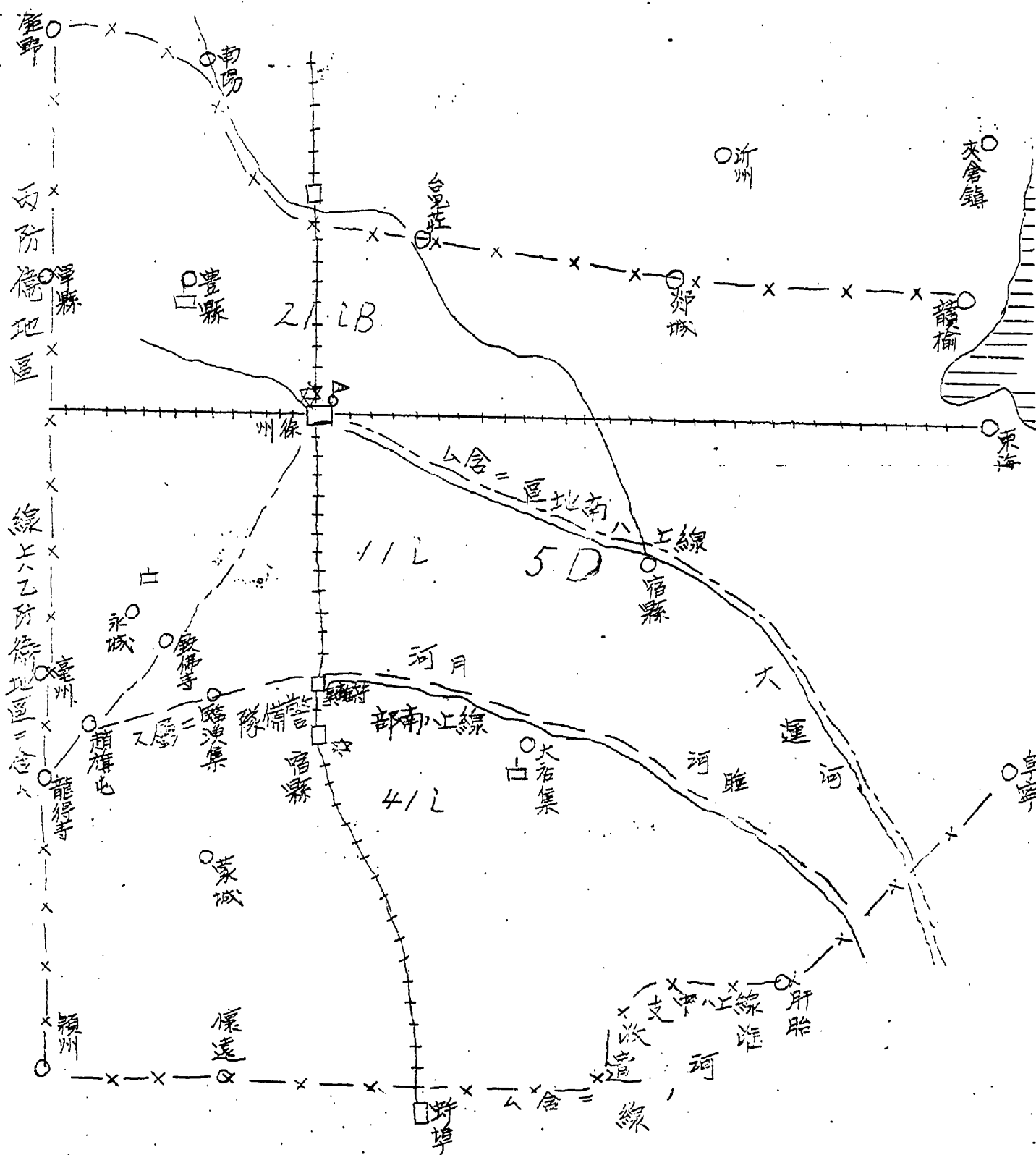
予ハ 曰出發宿縣ニ到ル

旅團長 國崎少將

傳達法

11/41L 11/5A 二八要旨電話後印刷交付ス

圖要城區任担備警區地南



四 豊稜守備隊ヨリ左記電報ヲ受領ス

一 十五日許廟(豊稜西方八村)附近掃蕩ヲ實施ス

二 函護兵器 小銃 六 小銃弾 二〇〇 自轉車 四

三 人馬異状ナシ

七月十日 一 部隊本部ハ孫店ニ位置ス

晴

二 五時三十分檜山曹長以下七名設營ノ爲メ宿務ニ向ヒ出發ス
三 被服交換並ニ補充、衛生材料及恤兵品ヲ受領ス

主要ナル品目左ノ如シ

一 被服、軍靴、天幕、夏衣袴、

二 衛生材料、防蟲剤、石灰、

三 恤兵品、ラケ、不、蓄音器、ピンポン、繪葉書、扇、等、

四 部隊長正馬水昭輝豫テ入廠中、處臈症ト決定セル旨

病長收容所ヨリ通報アリタリ。

又

七月十九日 晴

五 豊縣守備隊交代ニ関シ左ノ通り電報ス

一 第二大隊ハ豊縣及單縣ノ警備ヲ第二十一旅團ヨリ派遣スル部隊ト交代後成ルヘク速ニ原宿營地ニ集結シ師團長ノ直轄タルヘシ

ニ 交代部隊ハ二十日到着ノ予定ナリ

六 左記日々命令ヲ下達ス

日々命令

於 七月十八日 孫 八 右

一 歩兵第十一聯隊ヨリ旅團司令部傳令要員トシテ兵一名ヲ明十九日迄テ差出シ旅團司令部ニ於テ勤務セシムヘシ

一 部隊本部ハ孫右ニ位置ス

ニ 部隊長ハ八時五分ヨリ藩塘鎮歩兵第十一聯隊本部ニ於テ聯隊將校ニ對シ轉任ノ爲告別ヲ為ス

引續キ師團司令部及關係各部隊へ挨拶廻リヲ爲シ十四時三十分歸還ス、

三 部隊長正氣鼻疽爲射殺セラル、

四 鐵道輸送ニ關スル指本左ノ如シ

國警第一號 附録

鐵道輸送ニ關スル指示

七月十九日午後五時
孫店

一 諸隊ハ別紙輸送計畫表ニ基キ鐵道輸送ニ依リ宿縣ニ兵力ヲ集結スヘシ

二 一三〇五列車輸送指揮官ハ輜重兵第五中隊長熊野大尉トス

三 輸送ノ細部ニ關シテハ各列車毎ニ徐州東站停車場司令部ト直接協定スヘシ

四 予ハ七月二十日七時徐州東站發列車ニ依リ宿縣ニ到ル

22

旅團長

國崎少將

下達法
要旨ヲ電話後印刷交付

1281

鐵道輸送計畫表

第鐵道監部徐州支部

輸送計畫番號		" 447			" 448		" 449		" 450				
輸送	若人馬物件	本國崎部隊	師團無線	輜重隊	輜重隊	中野砲第七隊	大野砲第三隊	第八中隊	第九中隊	大隊段列			
人員	將校(含准尉) 下士官以下	5	8	6	2	5	9	5	5	2			
馬	區	69	8	400	278	136	158	140	140	92			
材	料	10(11)	1	180(80)	114(67)	85(37)	63(38)	75(40)	78(29)	49(35)			
荷物	車(駄)數 重量(噸)數 容積(立方)												
所	一 二等客車												
要	三等客車												
車	客車代用有蓋貨車		7		7		5			4			
輛	荷物有蓋貨車		1		1		1			1			
	馬槽有蓋貨車		20		20		14			13			
	無蓋貨車		4		2		1			1			
	二枚側風無側車		2		4		6			6			
	合計		34		34		27			25			
輸送列車番號		1	3	0	5	1	3	0	5	1	3	0	9
車輛配給希望日期		3.00	20/7			9.00	20/7	3.00	20/7	9.00	20/7		
出發	停車場		徐州			東		站					
	時分	7.00	20/7			13.00	20/7	7.00	20/7	13.00	20/7		
到着	停車場		宿			縣							
	時分	10.30	20/7			16.30	20/7	10.30	20/7	16.30	20/7		

注意
 一 本乘用自動車、サイドカー、シ、輜重車
 一 秋料、礦中、マ、野砲、カ、鏡側車、夕、彈藥車、ヨ、予備品車、ト、トラック
 一 時間、二十四時間トス
 一 馬匹、欄中、支那馬數、ハ、括弧ヲ附シ、區分ス

七月三十日 晴
一 部隊本部ハ五時三十分孫店發條州東站ヨリ鐵道輸送ニ依リ十八時宿縣着同地ニ宿營ス

二 此ノ白列車編成ニ多大ノ時間ヲ要シ予定ヨリ遅ルノト六時間三十分ニテ十三時三十分漸ク出發セリ

三 轉進ノ急宿縣ニ於テ待機中ノ篠塚部隊本部ニ到リ連絡ス

四 五時八十五時ト警備ヲ交代シ配備ヲ完了セリ

七月三十一日 晴
一 警備隊司令部ハ宿縣ニ位置ス

二 輕列車配屬ニ関シ師團參謀長宛 左ノ通り電報ス
一 警備區間ノ狀況ニ鑑ミ現在鐵道隊ニ有シテ輕列車警備隊ニ配屬方並師團有線一分隊差遣方御 配屬ヲ乞フ

三 及川旅團長荷物率領ノ為大山上等兵出發ス(北滝口少佐ト同行ス)

23

四、^{四ノ}ハ十七時娘々廟(蒙城東北方七將)ニ達セル旨納見部隊本部ヨリ通報アリ、

五、豊縣守備隊長ヨリ左記電報々告ヲ受領ス

一、單縣ヨリ報告依ルハ約一〇〇名ノ匪賊ハ二、三日ノ裡ニ單縣ヲ奪取スト、

二、未タ交代部隊到着セス、

三、警備隊異状ナシ

六、本日左記各團命令ヲ受領ス

七、宿縣駐留間司令部内々務規定別冊ノ通り規定ス、

乙兵作命甲第九號

乙所轄地區兵團命令

於七月二十一日十一時
徐州

一、第一鐵道監ハ隸下部隊ヲシテ状況ニ應ジ輕列車其他

ヲ以テ第五師團南北兩地區警備隊ノ鐵道警備ニ協力セム

ハニ

兵團長 安藤 甲將
下達迄 要旨電報後印刷交付

七月二十一日

晴

- 一 警備隊司令部ハ宿縣ニ位置ス
- 二 徐州病急收容所ニ入所中ナリシ旅團長正勇取扱兵木村特務兵十二時歸還ス
- 三 篠塚部隊長出發挨拶ノ急來部セラレ
- 四 長野部隊ハ二十一日拂曉警備ノ交代ヲ完了セル旨電報々告マリ
- 五 本日左記ヨリ命令ヲ下達ス
日日命令
七月二十一日
歩兵第四十一聯隊ヨリ電動機運轉ノタメ左記人員ヲ七月二十四日午台六時迄ニ差出シ旅團司令部ニ於テ勤務セルムヘシ

左記

電動機ニ心得アル兵

二名

右運轉ニ要スル補助兵

二名

日日命令

七月二十三日
於宿縣

歩兵曹長

是田彰史

昭和十三年度少尉候補者學科試験受験ノ為

七月二十三日ヨリ三泊四日ノ豫定ヲ以テ徐州第五師團

司令部ニ出張スヘシ

試験期日ハ七月二十四日 二十五日ノ二日間トス

七月二十三日

一 警備隊司令部ハ宿縣ニ位置ス

曼

ニ 是田曹長少尉候補者試験受験ノ為徐州ニ出張ス

三 蒙城守備隊ニ對シテ補給及長野部隊警備交代ニ関シ

左ノ通り師團參謀長宛電報ス

其

蒙城守備隊ト補給路完備ノ爲南平鎮附近ニ

架木橋スルヲ要ス

速ニ工兵ヲ差遣セラレタシ

(河川 四口米 深サ一ニ米)

其

蒙城守備隊(歩一大、聯隊砲、速射砲)用ノ糧秣

至急送付方取計スレ度

其

長野部隊ハ二十一日拂曉大場部隊ト警備交代

終ル

蒙城守備隊ハ到着ノ筈ナルモ 未タ電報ニ接セス

四

糧秣補給方法ニ關シ左ノ通り師團參謀長ヨリ電報アリ

一 宿縣警備ニ要スル糧秣ヲ同隊ノ要求ニ依リ一時貴部

隊集積糧秣ヲ以テ操換補給方特ニ配慮願度

同隊所要糧秣ハ明ニ三日發送ノ見込ナリ

二 貴隊所要糧秣(十五百介)ハ明ニ二十三日宿縣ニ輸送スル

25

五、時貴地兵站支部ニテ積換ハ補給ヲ受ケレ度
同支部ニ連絡済

六、蒙城守備隊ニ對スル糧秣ハ貴隊配屬ノ輜重ニテ
宿縣ヨリ輸送セシメラレ度

五、二十時工兵小隊派遣ニ関シ五師作命一甲第四十三號
命令要旨電報左ノ通り受領ス

五師作命一甲第四十三號

一、工兵第五聯隊長ハ約一小隊ヲ速ニ南平鎮附近ニ
派遣シ補給路完成ノ爲ニ同地ノ架橋ニ任セシムヘシ

一師團ニ於テ徐州ノ工兵残余部隊ヨリ一小隊派遣スル
如ク處置済

二、南地區警備部隊ハ右工兵ノ架橋ニ関シ材料ノ
蒐集援護等ノ爲ニ要ノ援助ヲ與フヘシ

六、蒙城守備隊ハ昨二十日十一時到着セル旨納見部隊長

報告アリ

七、南地区警備隊警戒配備要圖別紙通り報告ス
八、十九時南警備隊ヨリ左記報告ニ接ス

左記

佐橋守備隊ハ佐橋東方地區ニ於テ約七八十
ノ匪賊蠢動シテ知リ歩兵一小隊MG一小隊ヲ
以テ之レカ討伐ヲ實施シ十七時歸還ス

敵遺棄死体 六

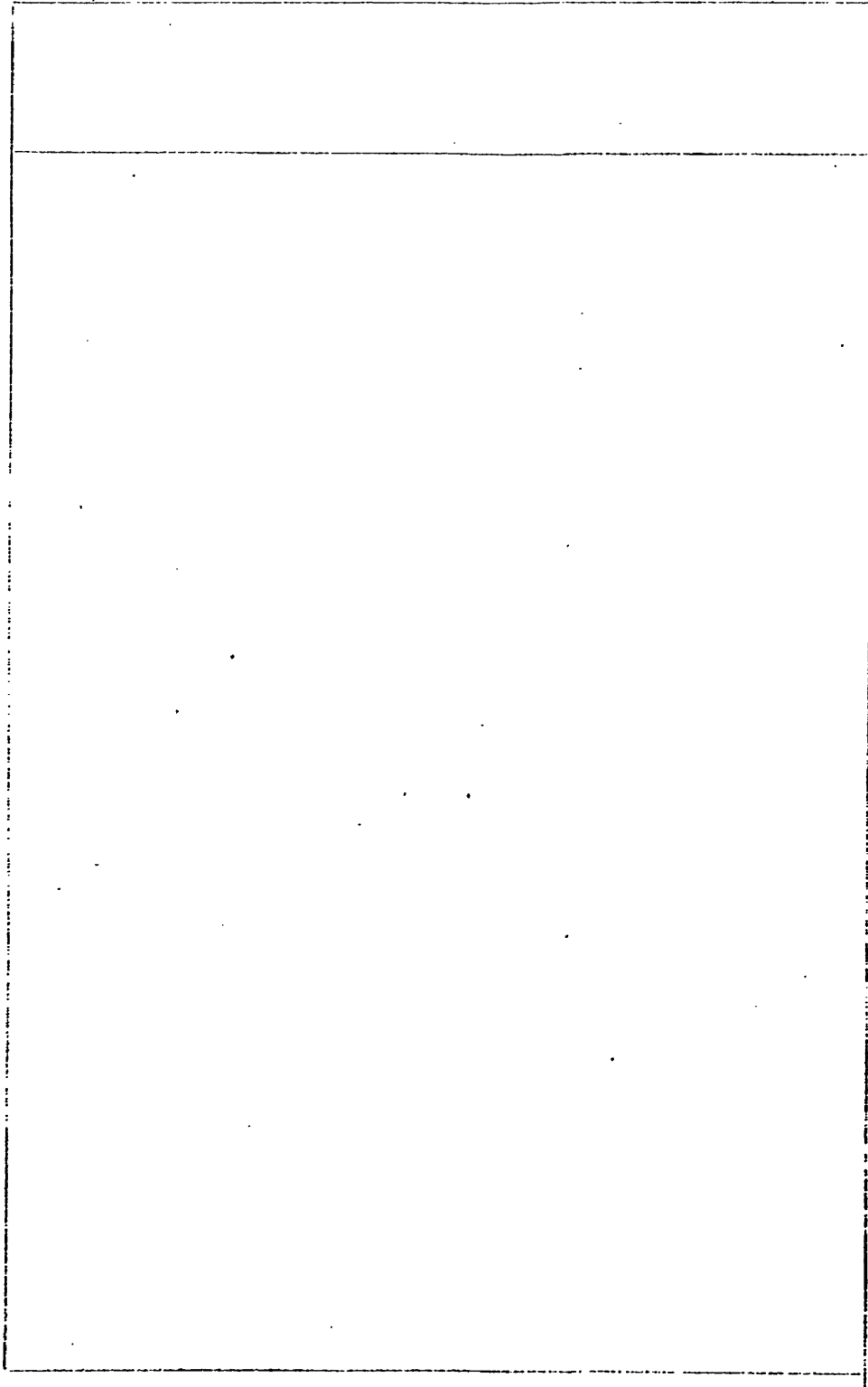
鹵獲品

小銃彈 五

手榴彈 二

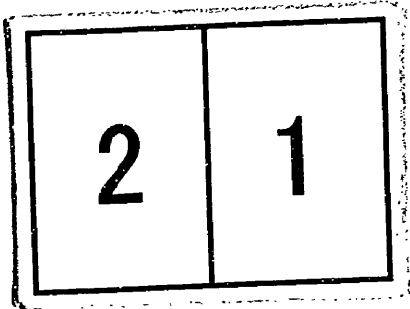
馬 三

我ニ損害ナシ



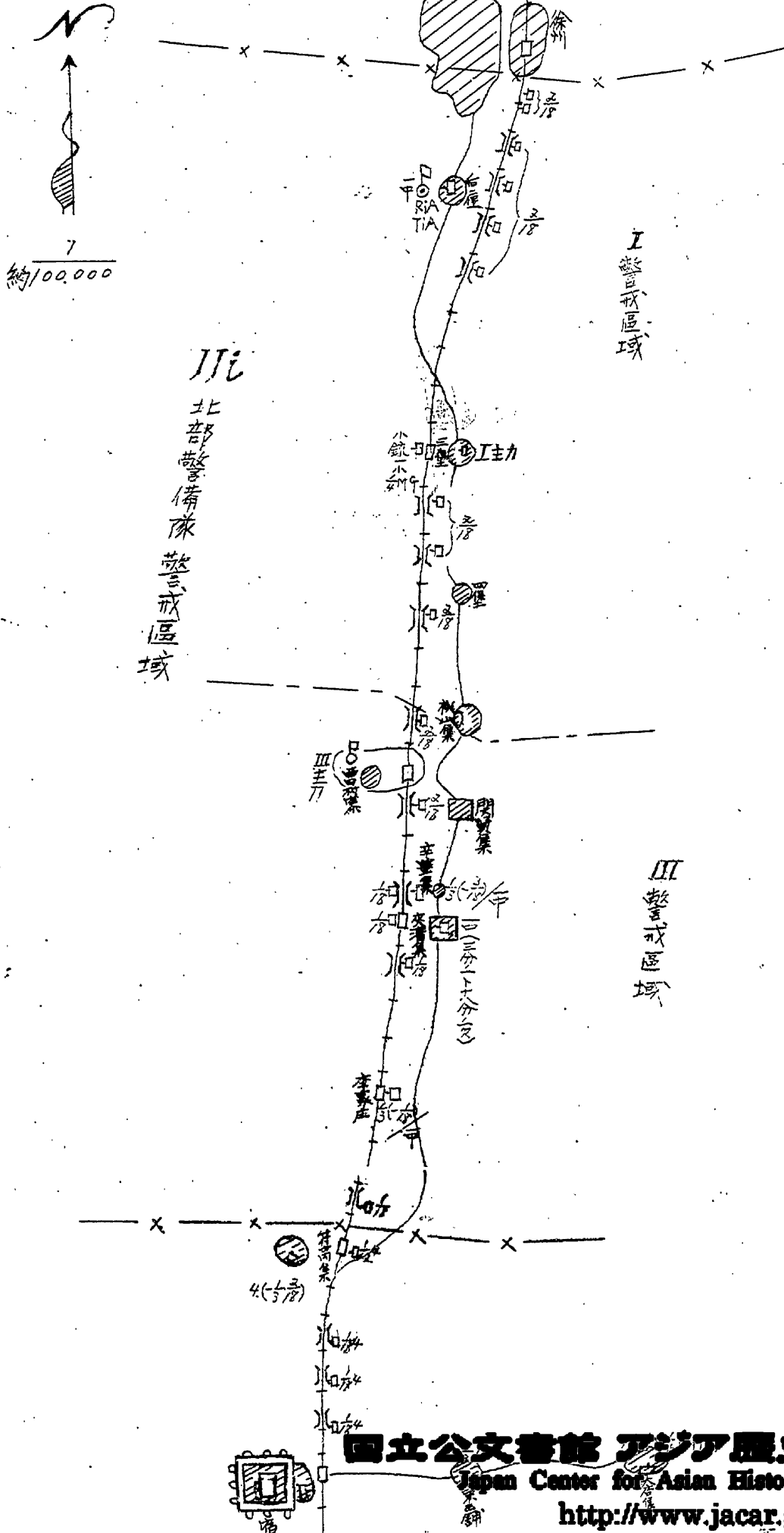
1290

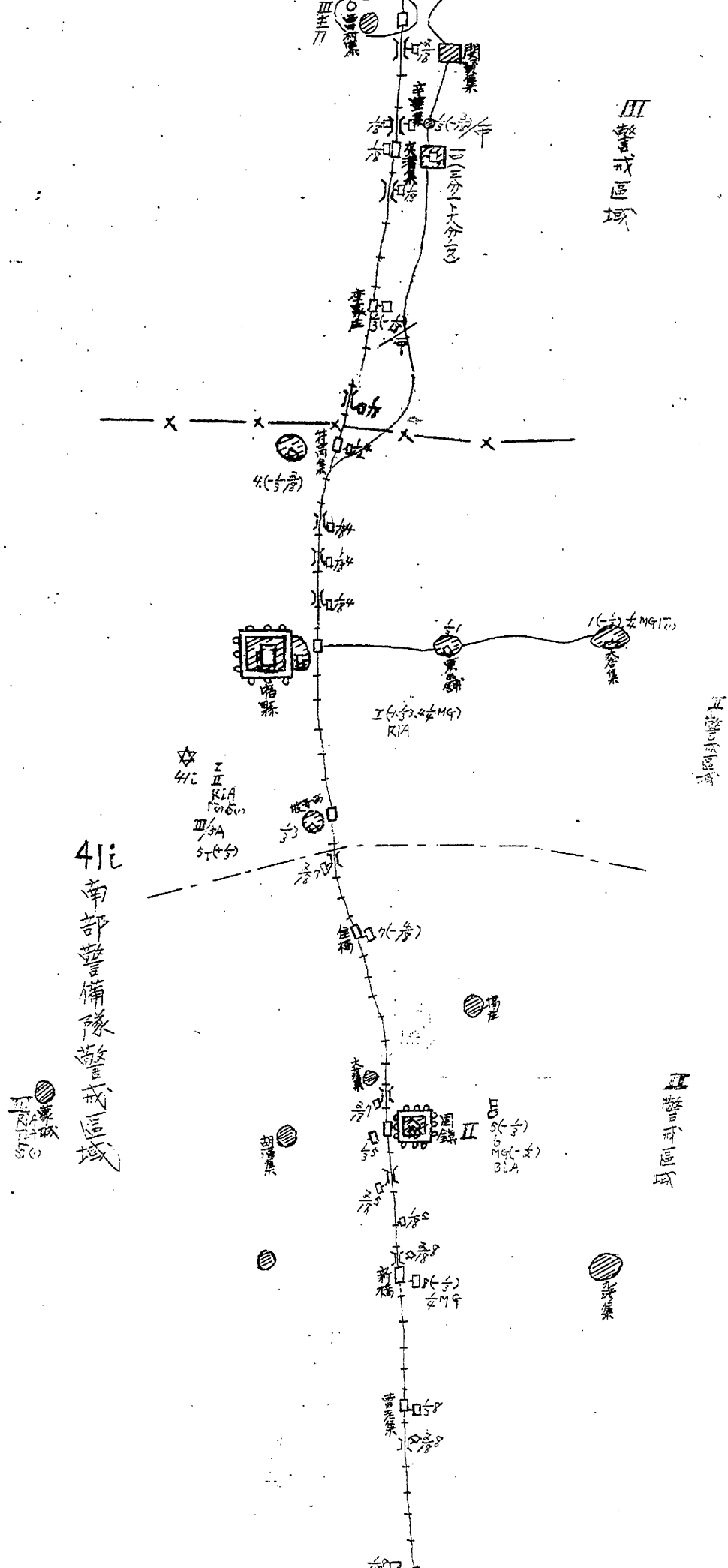
分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	
分割撮影 した理由	A 3版以上のため
文書等名	南地区警備隊戒配備要図
上記のとおり分割撮影したことを証明する。	

圖要備配戒警隊備警區地南

(北平於日二十二月六)





七月二十四日
曇雨

一 警備司令部ハ宿縣ニ位置ス

二 納見部隊ヨリ蒙城守備隊糧秣ニ関シ左記電報要旨ノ報告アリシルニ依リ之ヲ師團參謀長宛電報ス

一 蒙城守備隊ヨリ報告ニ依リ同地ニ守備隊人員對スル約一ヶ月分ノ糧秣集積シアルト判明セリ

同部隊用トシテ宿縣ニ至急糧秣追及方請求ノ電報ハ取消サレ度シ

三 工兵小隊ノ架橋掩護ニ関シ及警備第一號ヲ左ノ通リ下達ス
及警備第一號

歩兵第九旅團命令

七月二十四日十二時
於宿縣

一 師團ハ工兵一小隊ヲ以テ南平鎮附近ニ架橋上蒙城

ニ至ル補給路ヲ完成ス

二 南部警備隊長ハ右工兵ノ架橋ニ關シ材料ノ蒐集掩護等ノ爲メ所要ノ援即ヲ與フヘシ

其ノ時期ニ關シテハ別ニ指示ス

旅團長

及川少將

下達該 命令受領者ニ集メ印刷交付ス

四日日命令左ノ通り下達ス

日命令

於七月二十四日宿縣

一 左記ノ者警備業務打合セリ爲七月二十五日より一泊三日ノ豫定ヲ以テ在宿縣歩兵第九旅團ニ出張ヲ命ス

左記

歩兵第十一聯隊長 歩兵大佐 長野祐一郎

日命令

於七月二十四日宿縣

歩兵曹長

檜山善男

歩兵上等兵

岡崎寅夫

無線機修理ノタメ七月二十五日より五泊六日豫定ヲ以テ濟南野戰工兵廠ニ出張ヲ命ス

七月二十五日 警備隊司令部ハ宿縣ニ位置ス

曇

二十一時五師作命甲第四三號ニ依ル兵小隊到着ス

三警備業打合セテ是十八時長野大佐到着ス

四司令部全員第一回コレヲ予所接種ヲ實施ス

五豊縣守備隊長ヨリ左記電報ヲ受領ス

六 單縣警備隊ハ二十四日二十時ニ分出發ス

シヨカイカイニ於敵約ニロト遭遇シ我カ損害

戦死一名 負傷者ナシ

二十五日二十時ニ到着

豊縣ヲ二十六日二時ニ分出發徐州ニ歸還ス

六本日左記日々命令ヲ下達ス

日 日 命令

七月二十五日

歩兵伍長

三浦道正

歩兵一等兵

向山誠三

荷物宰領ノ為青島ニ出張ヲ命ス
細部ニ關シテ別ニ指示ス

歩兵伍長

多賀文雄

事務連絡ノタメ明二十六日徐州第五師團司令部ニ出張ヲ命ス

七月二十日、警備隊司令部ハ宿縣ニ位置ス
曼縣南ニ二十時左記ノ者頭書ノ通出發ス

ハ三堡ハ歸還ノ為

長野大佐

ニ徐州師團司令部ハ

多賀伍長

ハ荷物宰領ノ為青島ハ

三浦伍長

同

向山一等兵

三少尉候補者學科試驗終了ノ為是田曹長徐州ヨリ
二十三日三十分歸還ス

七月二十日 一、警備隊司令部ハ宿縣ニ位置ス

曼羅南ニ密偵ノ報告ニ依ルハ張家園子(任橋東北方六料)王庄(任橋

西北方六料)附近ニ蟠居シアリレ共産匪(匪首不明)約十五

百ハ靈壽方向ニ移動セリト

三、及川少將及納見大佐ハ昨ニ十六日無事青島上陸ノ旨

瀧口少佐ヨリ電報アリ

四、北支那方面軍參謀長ヨリ軍人ノ軍隊ノ對住民行為

ニ關スル注意左記ノ通り通牒アリ

方軍參ニ密第一六一號

軍人軍隊ノ對住民行為ニ關スル注意ノ件通牒

昭和十三年六月二十七日

北支那方面軍參謀長岡部直三郎

一、軍占據地域中ノ治安ハ徐州會戰ノ結果一時好轉セ

29

シヤニ有受ケラレシモ最近ニ至リ山東省方面ニ於ケル交通
線ノ復ニ盛トナリ又北部京漢線西方地區共產遊
撃隊ノ活動ハ北京北方地區ヲ経テ從來ノ平和境
冀東方面ニ迄擴大セラル、等再ニ逆轉ノ傾向ヲ示シ
ツ、アリ、治安回復ノ前途實ニ多難ナルヲ覺エシム
治安回復ノ進捗遅々タル主ナル原因ハ後方安定ニ性ス
ル兵力ノ不足ニ在リト勿論タルモ一面軍人及軍隊ノ
住民ニ對スル不法行爲カ住民ノ怨嗟ヲ買ヒ反抗意
識ヲ煽リ共產抗日系分子ノ民衆煽動ノ口實
トナリ治安工作ニ重大ナル悪影響ヲ及ホスコト勘
トセム

而シテ諸情報ニヨリ斯ノ如キ強烈ナル反日意識ヲ激
所セシメシ原因ハ各所ニ於ケル日本軍人ノ強姦事件
カ全般ニ傳播シ實ニ豫想外ノ深刻ナル反日感情ヲ

釀成セルニ在リト謂フ、

三、由來山東、河南、河北南部等ニ在ル紅槍會、大刀會
及之ニ類スル自衛團體ハ古來軍隊ノ掠奪、強姦
行爲ニ對スル反抗熾烈ナルカ特ニ強姦ニ對シテハ各地
ノ住民一齊ニ立テ死ヲ以テ報復スルヲ常トシアリ(昭和十二年
十月六日方面軍ヨリ配布セル紅槍會ノ習性ニ就テ參照)
從テ各地ニ頻發スル強姦ハ軍ナル刑法上ノ罪惡ニ留ラ
ズ治安ヲ害シ軍全般ノ作戰行動ヲ阻害シ累テ國家
ニ及ホス重大反逆行爲ト謂フヘク部下統率ノ責ニア
ル者ハ國軍國家ノ爲ニ泣テ馬糞ヲ斬リ他人ヲシテ戒
心セシメ再ヒ斯ル行爲ノ發生ヲ絶滅スルヲ要ス若シ之ヲ
不問ニ附スル指揮官アラハ是不忠ノ臣ト謂ハサルヘカラス
四、若ク如ク軍人個人ノ行爲ヲ嚴重取締ルト共ニ面成ルヘク
速ニ性的慰安ノ設備ヲ整ヘ設備ノ無キタメ不本意ナ

ヲ禁ヲ侵ス者無カラシムルヲ緊要トス

五、右ノ外討伐部隊カ戦闘上ノ必要ニ基クニ非ラスシテ單ニ敵兵ノ存在セシ故ニ或ハ住民地附近ノ交通ヲ匪賊カ破壊セリトノ理由ニ依リ住民ノ家屋ヲ燒却スルカ如キ徒ニ無辜ノ住民ヲシテ自暴自棄ニ陥リ匪賊ニ投セシムル結果トナルヲ以テ住民地ノ燒却ハ嚴ニ之ヲ禁止スルヲ要ス近時各遊撃部隊ハ縣政府ヲ作リ相當組織アル行政ニ依キアルヲ以テ討伐部隊ノ行爲住民ヲ庇護スルノ態度ニ出テサルニ於テハ住民ヲシテ自本軍ヨリモ反テ遊撃部隊ヲ德トスルニ至ラシムヘシ

六、前述ノ諸項ハ從來屢々注意セシ所ナルカ其徹底特ニ實行部隊タル中隊以下ニ對スル徹底十分ナラサル憾アリ此際特ニ下級部隊ハ徹底ヲ期シ信賞必罰ヲ以テ臨マレ度ク命ニ依リ通牒ス

七月二十日

一 警備隊司令部ハ宿縣ニ位置ス

曼(豫)軍

二 國崎少将ハ歩四一將校團ニ對シ告別ノ爲メ九時三十分納見部隊本部ニ到リ十一時十分歸部ス

七月二十日

一 警備隊司令部ハ宿縣ニ位置ス

曼

二 八時ヨリ司令部ニ於テ國崎少将告别式ヲ行フ

三 國崎少将赴任ノ爲メ九時三十分宿縣駅發列車ニ徐州ニ向ヒ出發ス

西原大尉河府上等兵同行ス

四 十四時五十分徐州東站着直ニ鶴屋旅館ニ投宿ニ同所ニ

於テ新旅團長ニ對シ事務引継ヲナス

五 旅團長着任ノ爲メ式ニ關スル命令左ノ如ク守田部隊ニ奉テル命令ニ付キ同隊ヲ承知シ記入スルコト

31

1301

七月三日

曇

一 警備隊司令部ハ宿縣ニ位置ス

ニ 新旅團長(納見大佐同行)ハ十時徐州發十四時宿縣ニ到着シ堵列ヲ受ケ警備隊司令部ニ入ル引継キ伺候式ヲ受ケタル後左記訓ホラス

著 任ノ 辞

時局重大ノ秋ハ官 歩兵第九旅團長ノ重責ヲ辱ウシ諸子ト共ニ輝シキ曠古ノ聖戰ニ参加シ奉公スルノ機會ヲ得タル洵ニ感激ニ堪ヘス

惟フニ當旅團ハ昨年八月出征以來高邁練達ナル前旅團長統率ノ下ニ或ハ河北、山西、山野ニ健闘シ或ハ轉シテ中支作戰ニ参加シ或ハ又山東南部ニ奮戦シ常ニ克ク赫々タル偉勳ヲ奏セルハ寔ニ欣快トスル所ナリ
繰テ爭奪ノ前途ハ尚ホ遼遠ニシテ何時如何ナル方面ニ戰局ノ發展ヲ見ルヤ窺知シ得サル現況ニアリ 諸子

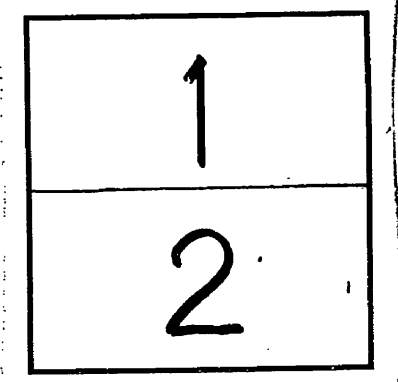
塊下ノ時高ヲ認識シ將來ノ情勢ヲ推想シ刻下最モ
 緊切ナル警備ノ重任ヲ完全ニ遂行スルニ違算ナキミナラス
 此間尚創意ヲ凝ラシ工夫ヲ繞ラシ寸暇ヲ利用シテ益々
 訓練ヲ精到ニシ軍紀ヲ確立シテ團結鞏固ナル鐵石ノ
 如キ軍隊ノ練成ニ努メ以テ新ナル次期作戰ニ備ヘテ遺
 漏ナカラシムコトヲ望ム
 冀クハ諸子宜シク前旅團長ノ時ニ致セル一貫不易ノ
 至誠奉公ノ熱意ヲ以テ聖戰ニ從事シ以テ旅團ノ光
 彩ヲ益々發揮セシメトヲ

昭和十三年七月三十日
 歩兵第九旅團長 及川源七

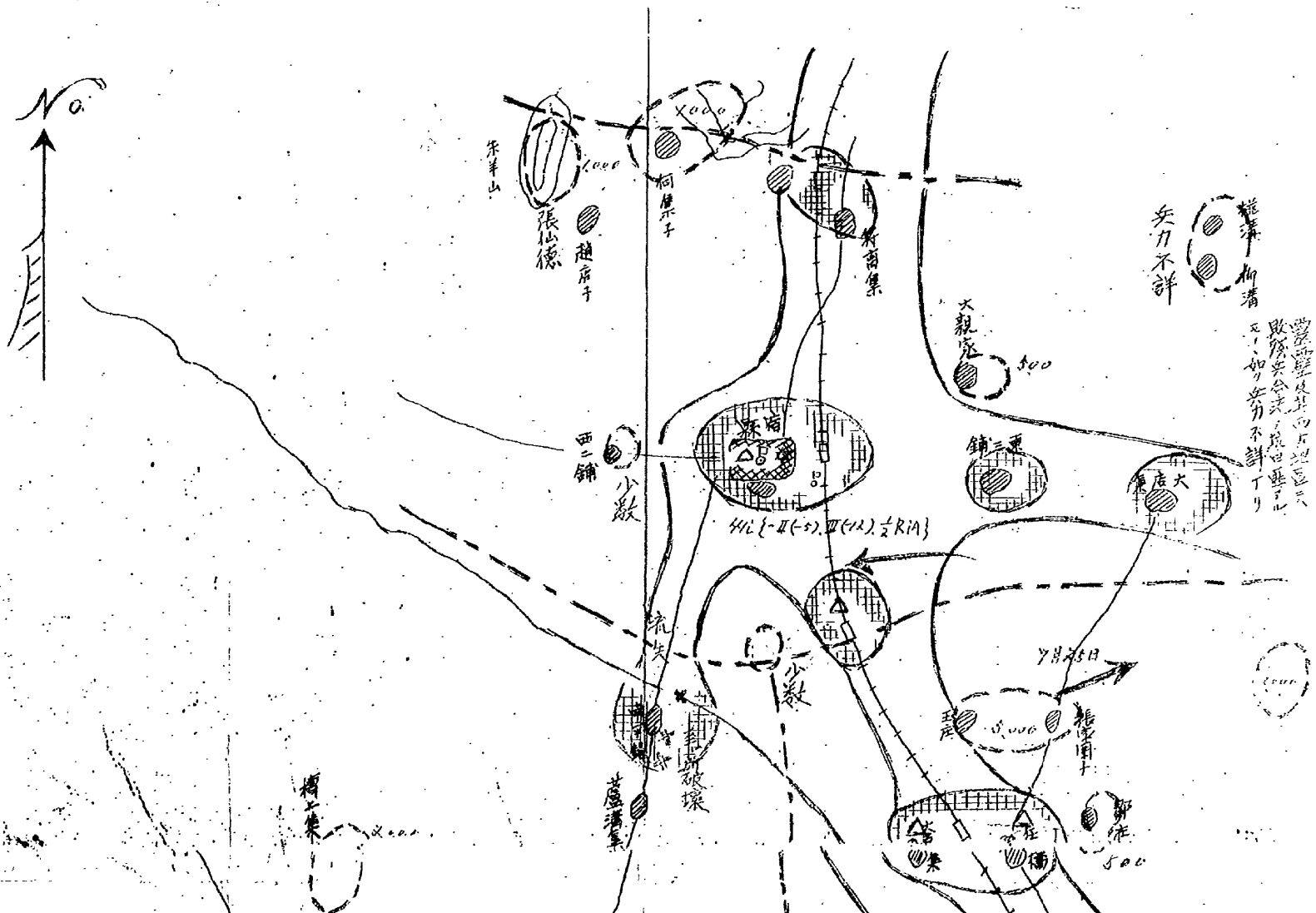
七月三十日
 警備隊司令部八宿縣ニ位置ス
 晴
 二八時三十分ヨリ部内一司ニ對シ訓ホヲ行フ

- 三師團司令部連絡ノ爲兒玉軍曹徐州ニ到ル
- 四 七月中ニ於ケル南地區警備隊治安狀況左ノ如シ、
- ハ 一帯ノ匪賊ハ我武威ニ摺ルニ行動極テ消極的ニシテ
 單ニ土民ヲ襲フニ止マリ進ニテ我カ襲來シ或ハ作戰
 上重要物件ヲ妨害スルカ如キ事極メテ少シ
- 又 匪賊ノ數配置類別別紙要圖第一ノ如シ
- 又 匪賊ハ一般ニ我攻撃ヲ極度ニ恐レ七月初旬ニ比シ其ノ根據地
 ヲ逐次我警備隊ヨリ離隔セシムル傾向アリ
- 又 一帯ノ匪賊ハ兵器彈藥ニ窮シアルモノ如ク或ハ土民ヲ脅迫
 シテ陰匿兵器ヲ蒐集シ或ハ行軍落伍兵ノ兵器彈藥ヲ
 窺偷シアルカ如シ
- 又 回鑛以南ニ於ケル浸水狀況別紙要圖(第三)ノ如ク我カ
 警備上ニハ寧口好都合アリ、

分割撮影ターゲット

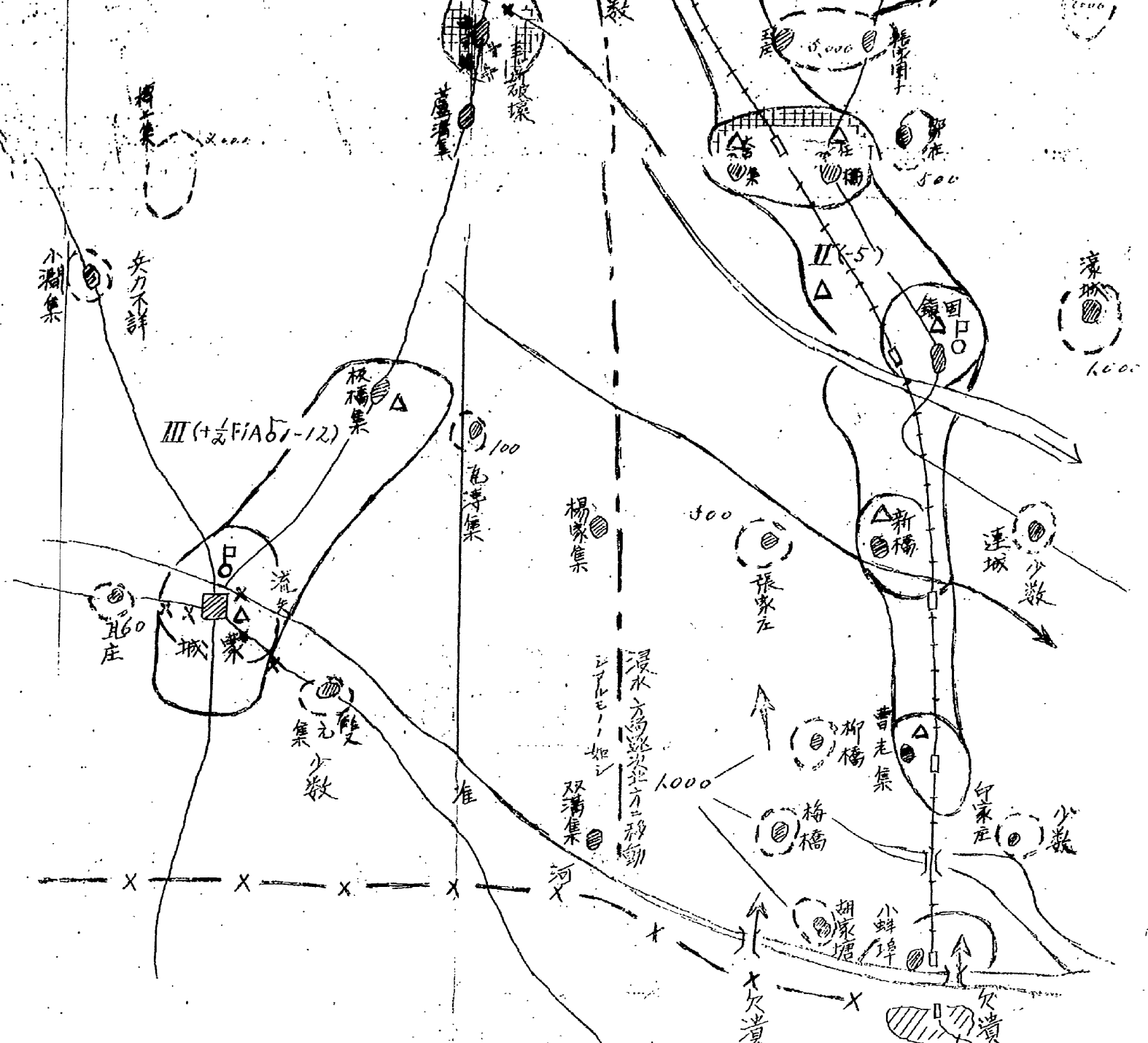
分割した部分の撮影順序	
分割撮影した理由	A3版以上のため
文書等名	南地区警備隊治安状況要図
上記のとおり分割撮影したことを証明する。	

圖要況狀安治隊備警區地南



備考

- 一 土匪一般ニ我ニ恐怖シ其根柢地ヲ次第ニ我警備隊ヨリ離隔セラル
- 二 我ハ各種手段ヲ講ニ逐次帰順ヲ勸告シアリ
- 三 符號
 - 抗日匪
 - ◎ 土匪 数字ハ兵力ヲ示ス
 - △ 治安維持會
 - 治安稍ニ回復セル地域
 - 治安概ニ回復セル地域



圖要況狀遊記線沿道鐵南以縣宿

(一〇二一八於)

